



TITLE:

第39回日本外科学会評議員會記事： 昭和13年4月1日京都「ホテル」ニ 於テ開催セラレタル

AUTHOR(S):

荒木, 千里; 藤浪, 修一; 浅野, 芳登; 鬼束, 惇哉; 吉田,
久士; 村上, 治朗

CITATION:

荒木, 千里 ...[et al]. 第39回日本外科学会評議員會記事 : 昭和13年4月1日
京都「ホテル」ニ於テ開催セラレタル. 日本外科宝函 1938, 15(4): 663-
677

ISSUE DATE:

1938-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204956>

RIGHT:

昭和13年4月1日京都「ホテル」ニ於テ開催セラレタル

第39回日本外科學會評議員會記事

荒木千里 藤浪修一 浅野芳登 手記
鬼束惇哉 吉田久士 村上治朗

評議員會開催ノ件ハ左記ノ如キ端書ヲ以テ現會長ヨリ評議員、名譽會員及ビ從來會長タリシ人々ヘ豫メ發送サレタ。

如何ナル有様デ此ノ評議員會ガ進行シタカヲ報告シテ日本外科學者並ニ學會ニ關心ヲ持つ人々ノ參考ニ供セントスル次第デアル。

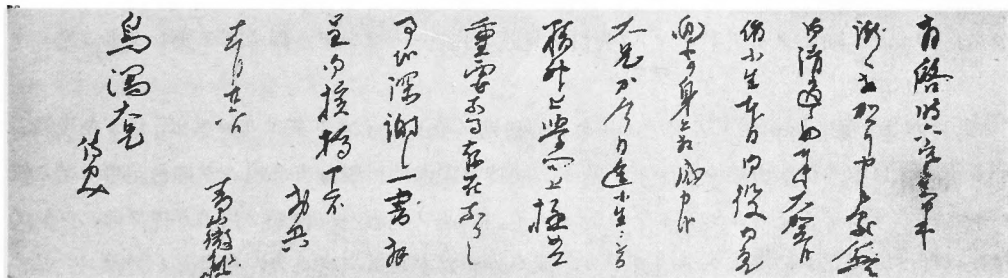
定刻迄ニハ「ホテル」5階ノ會場一ツパイニ會員ガ集リ着席シテキル。壁間ニハ立派ニ表装サレタ軸ガ懸カツテキル。コレハ青山教授ガ退職サレタ時ニ鳥瀉教授ニ宛テタ信書デアツテ全文ハ下ノ如クデアル。

黙々ノ間ニ東西ノ教室主宰者ガ肝膽相照シテ居ルノ狀ヲ詳ニスルコトノ出來ルモノデ、鳥瀉教授ガ此ノ信書ヲ何物ヨリモ悦バレ、何物ヨリモ大切ニサレテキルコトガ解ル。後進同學之ニヨリテ訓ヘラル、所甚ダ多ク、洵ニ學界ノ寶トスルニ足ル

謹啓 來る四月一日、左記の次第により、評議員會開催致候間、何卒御出席下され度願上候
一、期日 昭和十三年四月一日(金曜日)午後正四時半
二、會場 京都市河原町御池 京都ホテル
三、議事

- 第一議案 庶務會計報告承認の件
 - 第二議案 次回開會地豫選の件
 - 第三議案 次回會長豫選の件
 - 第四議案 次回宿題に關する件
 - 第五議案 規則中改正の件
 - 第六議案 總會記事を従前よりも詳細に編述するの件
- 以上

昭和十三年三月十日 日本外科學會長 鳥瀉 隆 三
追て晚餐用意の都合有之、御來否三月二十五日までに御一報煩度候



モノデアル。鳥瀉會長ガ今次評議員會ノ席上ニ於テ特ニ此軸ヲ示サレタコトノ眞意那邊ニ在リヤハ知ル人ゾ知ラン。

午後5時30分會長書記ヲ從ヘ着席(拍手……)，會長起立(再ビ拍手)。

會長『ソレデハ評議員會ヲ開會致シマス。

先ヅ庶務ノ報告ヲ致シマス。

本年度入會者234名、退會者156名、死亡者32名、現在總數 3867名。死亡者ハ……（一々姓名ヲ讀ミ上ゲル）以上ノ32名デアリマス。弔意ヲ表スルタメニ一同御起立ヲ。』……一同起立默禱。

會長 『議事ノ日程ニハ豫告サレテ居ラナイ事項デアリマスガ、常任幹事ヲシテ居ラレル御兩君ハ評議員會ニハイツデモ必ズ出席サレネバナラヌ人デアリマス。ソレデ其ノ名ヲ評議員ノ中ニ列シテ置クハ重複シマスカラ、私自身ノ專斷デアリマスガ、之ヲ評議員名簿ノ中カラ抜イテ了ヒマシタ。ソノ代リ評議員ニナツテホシイト豫ネ豫ネ思ツテキタ人ノ中カラ、……澤山アルノデアリマスガ、……ソレデ私ノ獨斷デ2名ヲ新タニ入レマシタ。

評議員ハ投票スル權利ガアリ、常任幹事ニハソレガアルカナイカ決メテアリマセンガ、常任幹事ハ常ニ評議員會ニ出テ居ルベキ人デアリマスカラ、評議員カラ抹消シ、一度會長ニナツタ人ト同様ニ取り扱フ（即チ投票權ガアル）トイフコトニ規則ヲ變更シテ頂キ度イト思ヒマスガ、此ノ點ガヨロシイデスカ、惡イデスカ、御意見ヲ承リタイデスガ………、

御意見ガアリマセンデシタラ、ソウ云フ主旨デ、規則ヲ書クコトニ馴レタ人ニ文句ヲ書イテ貰ハウト思ヒマスガ………』

野口 『議長！ 常任幹事トシテダケナラバ、意見ヤ票決權ヲ制限サレルカラ會則トシテソノ點ヲ明ニシテ戴キタイ。』

會長 『今述べた主旨デ、文句ハ規則ヲ書クコトニ馴レタ人ニ御願ヒシマセウ。』

野口 『賛成！』

會長 『ソレデハソウイフ事ニ決メテ頂キマス。異議ノ無イモノト確定致シマス。』

會長 『次ニ收支ノ事デアリマス。本年度ノ總收入ハ……（讀ミ舉ゲル）、詳シイ事ヲ承知サレタイ方ハ會計ノ方ヘオ申出デヲ願ヒマス。

支出高……（別表ヲ讀ミ舉ゲ）……差引殘高……（別表、省略ス）

ソノ中寄附金ヲ引クト……（別表、省略ス）、コレガ會計幹事ノ都築教授カラノ御報告デアリマス。御承認ヲ願ヒタイデアリマス（會員ヲ見渡ス）。……ソレデハ御承認ヲサレタ事ト思ヒマス。……（承認！）』

『夫レカラ今度ハ御相談デアツテ、トクト御意見ヲ承リ度イコトデアリマスガ、私が今度過去5, 6年間ノ日本外科學會總會ノ記事ヲ讀ミ、同時ニ獨逸外科學會カラ出シタ總會記事ト讀ミ較べルト日本ノモノガ見劣リシテトテモ讀メナイ。獨逸ノ記事ハ、會衆ノ拍手ガアツテ、ソレヲ會長ガ押ヘテ起立シテ發言シテ曰クトカ、或ハ誰レガドウ言ツタトカ、今日ソレヲ讀ンデ見テモ當時ノ狀況ヲ髣髴タラシメ、アル所ニハ（Heiterkeit）ト註ガ入レテアツテ、聞ク人モ氣分ガ好カツタトイフ意味ガ示サレテアル。後世ニ殘ルモノトシテハ精細ヲ極メ大變氣持ガヨイ。

所ガ我が外科學會ノ總會記事ハ比較ニナラヌ幼稚ナモノデ、從來ノ日本外科學會總會ノ臨時號ニ出ル演說ノ内容ハ、單ニ斯クスクノ演說ヲスル積リダト書イテアルノミデ、具體的ノ事ガ書イテナイモノモ多々アル。又討論ハ頁ガ離レテソレダケヲ別ニ印刷シテアツテドウモ具合ガ

悪い。ソレデ後世ニ殘ル事デアルカラ當時ノ様子ガ手ニトル様ニハツキリ判ル様ニシタラドウカト思ツタノガ始リデアリマス。如何致セバヨロシイカ、ソノ案ヲ承リ度イト思ツテ居タノデアリマスガ、タマタマ都築教授ガ他ノ用事デ京都ニ來ラレタ時大體ノ打合セヲシタ所ガ、『從來ヨリモ「抄録」ヲバモツト簡單ニシテ、ソレヲ小冊子トシテ學會ノ前ニ會員ニ配ル(コレハ他ノ學會デハ既ニ行ツテキル)。ソレハ演題ダケト大差ナイモノ、即チ演題ニ一寸説明ヲ加ヘタ程度ノモノニスル。ソノ代リ演説ガ済ンデカラ直後ニ、演説シタト全ク同様ノ内容ヲ記載シタモノヲ幹事ニ手渡シテ戴ク。10分位ニ演説スルカラ非常ニ澤山ハ書ケナイ。言ハナイコトハ書カナイノデアルカラ、大體1人1000字位、ソノ位ノ程度デ印刷シタモノガ約1頁ニナル。ソノ積リデソノ抄録ヲ演説終了直後ニ幹事ヘ提出シテ戴キタイ。幹事及ビ會長ガソレヲ一度讀ミ、ソレガ言ツタコト、間違ツテアルカ否カラ検査シ、言ツテ居ラナイコトガ書イテアレバ注意スル。左様ニスレバ約80頁位デ済ミ、1ヶ月ニ出ス雑誌ノ分量ト大シテ變ラヌ。ソウスレバ經濟的ニモ負擔ガ加ハラズ、實行可能デアルシ、又タ演説ノ後ニ續ケテ討論モ書ケル。討論モ從來ハ討論者ニ書イテ貰ツテ居タガ、討論以外ノ事ガ書イテアレバ注意ヲ與ヘ眞實ニ言ツタコトダケヲソノ通りニ書イテ貰フ様ニシタラドウカ』トイフ都築教授ノ御意見デアリマシタ。ソウ云フ實行意見ガ出テキマス。宿題ナドハ會カラ依頼シタモノデアリマスカラ、宿題報告ハ後カラ出ル雑誌、即チ2ヶ月モタツテカラ掲載スル。先ヅ此ノ様ナ案デアリマスガ、ソレガヨロシイカ、或ハソナナコトヲセズニ是迄通りノ様ナ方法ガヨロシイカ、御協議ヲ願ヒタイ、ドウゾ御腹臍ナイ御意見ヲ承リタイデアリマス。』

齋藤 『會長ガ開會ノ時、挨拶ヲ述ベルガ、アレモ入レテ貰ツタラ如何デスカ。』

會長 『トテモヨイデスナー、獨逸ノ方ナンカ……』

齋藤 『終リノモノモ、宿題ノ謝辭ナドモ入レテ戴クトヨイ。』

會長 『是迄ノモノハテンデ學會記事ノ體ヲナシテハ居ナイデス。』

大野(良) 『總會ノ席上ニ速記者ヲ2,3人置イテ、スツカリ筆記サセテ、アトデ會長ナリ、幹事ナリデ御覽ニナツテ纏メラレテハ如何デスカ。』

會長 『ソレモ非常ニ良イ案ト思ヒマス。コレモ都築教授トモ相談シタコトデスガ、學會ノ演説ニハ色々ノ外國語ガ入ツタリ、又色々ノ術語ガアルカラ、我々ガ日本語ト思ツテ居ルモノモ、速記者ニハ判ラヌコトガアルカラ、コレノ實行ハ出來ナイ。ソレデアルカラ外科的ニ教育ヲ受ケタ教室員ノ幹事ヲ餘計ニ増員シテソレガ筆記スル。ソレダケデハ頼リナイカラ、ドウセ演説ヲスル人ハ原稿ガアルカラ、其ノ原稿ヲ渡シテ貰ツテ、ソレト照シ合セたら良イト思ヒマス。』

野口 『會長ノ御意見ガ良イト思ヒマスガ、今年ノ出題者ハ何人アリマシタカ、「オミツト」シタ人ハ……?』

會長 『今年ハ「オミツト」シタノハ2題位デス。』

野口 『ソレ位ナラバヨイガ、數ガ多ケレバ、内容ガアマリニ抽象的デハ會長ガ選擇ニ困ルコ

トガアツテモ惡イカラ、此ノ點「ルーズ」ニナラス様御注意願ヒタイ。獨逸ノ學會ハ會長ガ一々 Kritik ラシテ大變權威ガアルカラ良イガ、日本デハ此レ迄ハ多クノ座長ハヤツテ居ラナイ。現會長ニハ御自信ガアラウガ、後ノ人ガ困リハシナイカ。』

會長 『現會長ノ私ニモ自信ハナイデス。段々専門的トナツテ、例ヘバ化學的ノコトハ私ハサツパリ駄目デス。1人ノ人ガ總テノコトヲ知り抜イテ全部ニ Kritik ヲ加ヘルコトハ出来ナイガ、併シ方針ガソレデアレバ段々勉強シテ良クナルト思フ。今度モ私が會長ト確定シテカラ過去7,8年前カラノ獨逸ノ學會記事ヲヨク調べタノデアリマスガ、日本ノモノヲ讀ミ較ベマスト全ク問題ニナラス。……』

今ノハ都築教授ノ案デアリマスガドウデアリマスカ、從來ノ有様カラ變ヘルコトニハ御異存ハナイ様デスガ實行方法ハ……?』

石山 『之レハ常任記録委員ヲ御作りニナリ、ソノ方ガ餘リ代ラズニ、責任ヲ以テ記録ヲサレル様ニ、適任者ヲ定メテ、比較的古イ方カラナツテ戴キタイ。會計トカ庶務トカノ幹事が決ツテキル様ニ……』(笑聲)

會長 『之レニモ不賛成ヲ唱ヘルノデハナイデスガ、之レハ非常ナ勞力ヲ要スルコトデ、専門ノ教育ヲ受ケタ人ガ3日間7,8人モ寄ツテヤラネバナラスノデ、非常ナ勞力デヤリ難イカラ、常任記録幹事ハ決メ難イデセウ。故ニ演説シタ人カラ原稿ヲ貰ツテ、ソレト幹事ノ筆記トヲ較ベタガ良イト思ヒマスガ……』

鹽田 『今大抵1頁ノ記録ト言ハレマシタガ、モ少シ増ヤシテ2頁ニシテモ、Ekonomieニハ變ラスト思ヒマス。ソウスレバ大體思フコトガ書ケル。ソノ位書イタ方ガヨイ。出来ルダケヨクシタ方ガヨロシイ。尤モ討論モ入ルカラ少シ長クナルガラウケレ共、然シ經濟的ニハ大シタ負擔ニハナラスト思ヒマス。』

野口 『結構デス。』

會長 『良イデセウ。』

野口 『一寸御注意致シマスガ、獨逸外科學會デハ出題者が缺席シテモ原稿ハソウ云フ場所ニ出シテ居ルガ、此ノ會デモソレヲ認メルカ。』

會長 『此ノ會デハ代演ヲ許サスト會則ニアルカラ缺席者ノ原稿ハ雑誌ニハ出サヌコトニ決ツテキマス。』

野口 『ソレカラ、演説ノ要旨ダケトイフコトニナリ、頁ヲ制限サレルト後デ讀ム人モ困ルカラ字數ノ多イ方ガ良イト思フ。』

鹽田 『餘リソコニ制限ガナイト經濟ガ許サナイ(臨時號ヲ示シツ)、2頁ニスルト大體今迄ノ2冊分ニナル。』

會長 『2頁以内トスレバ如何デセウ?』

鹽田 『ソレガ良イデセウ。』

會長 『都築教授ハ1頁デ表ヲ入レサセナイト云ハレタガ2頁トスレバ表モ入レラレル。』

鹽田 『表ヲ出サセルト言葉ヲ多ク述ベズニ濟ム事モアリマス。(書記横山氏ニ向ツテ) 2頁デモ經濟的ニ行ケルガラウ?』

横山 『ソレハ行ケヌコトハナイト思ヒマス。』

(會長、鹽田名譽會員、横山書記トノ間ニ經濟ノ實際ニ關シテ2, 3ノ問答アリ、結局經濟的ニ實行可能ノコトガ判明スル。)

齋藤 『斯ウ云フ事ハドウナリマスカ? 2ツノ疑問ガアリマス。1ツハ Diskussion デスガ、斯ウ云フ内容ダカラスウ云フ Diskussion ヲヤラウト準備シテ來ル人ガアルガ、豫メ詳シク書イタモノガナイトソノ用意ガ出來ルカドウカ、第2ハ2頁ノモノヲ出ス。ソレヲ Original ニ書キ度イ人ガアル。ソレヲモウ1度 Original トシテ出スノニ困リハセスカ。』

鹽田 『ソナナ事ハナイ。』

齋藤 『Diskussion ノ用意ハ出來ヌ。』

會長 『豫告ノ小冊子ニハ内容ヲ上手ニ具體的ニ2, 3行デ濟ム様ニ書ク、ソウスレバ討論ガ出來ヨウ。……學會ノ様子ヲ充分忠實ニ記載シテ殘スタメニ「レコード」ニ收メルコトモ考ヘテ見マシタガ莫大ノ費用デ到底實現ハ許サレナイ。』

鹽田 『金持ナラヤツテオルガ……』

會長 『獨逸デハ何處カノ學會デヤツテ居ル様デスヨ。』

(横山書記ガ會長ニ耳打チス。……)

會長 『今斯ウ云フコトガ出テキマスガ、……表ヲ矢鱈ニ入レラレルト困ル、同ジ2頁デモ駄目ダトイフノデスガ……』

鹽田 『表デモ組代ガカ、ラヌモノハソレデヨイ。表デ特ニ入レタイ者ハ特別ニ金ヲ貰ヘバヨイ。大シタ費用デハナイ。』

會長 『ソウデスヨ、尤モ會場デ出シタ表ノミデスナ、別ノモノヲ出サヌ様ニ。』

鹽田 『ソウ會員ヲ不信用ニシテハイケナイ。』

野口 『今ハ演題ガ少クテヨイガ、今後演題申込ミノ數ガ倍ニモナツタ時ニ、今ノ御考ヘノ様ナ簡單ナ抄録デハ「セレクション」ガ出來マセンカラ、實際私が會長ヲヤツテ見テ大學ノ正教授ガ自分ノ Schüler ノヤツタモノヲ自分デ直シテ見テモ、ソレガ大體ナツテキナイ。ソレガ心配ダ。』

會長 『故ニ今カラ要領ヲ得タ抄録ヲ作ルコトヲ稽古スレバダンダン上手ニナル。』

野口 『抄録ハ大ニ熱ヲ入レテヤツテ下サイ。 kurzer Auszug ニシテ貰ハナイト……』

會長 『ソウデスヨ。具體的ニ簡明ニ書ケテ居ナイ場合、ソレガ「オミット」サレテモ仕方ナイ。具體的ニ簡明デナイカラ「オミット」シタト言ハレ、バ苦情ヲ言ヘナイ。此ノ事ヲ記錄係ハシツカリ書キ留メテ置イテ下サイ。』

會長 『デハ以上ノ様ニ決メテハ如何デセウカ。』

會衆 『賛成!』

會長 『ソレデハ確定シタコトニ致シマス。』

會長 『今度ハ議事日程ニ依リ明年ノ開會地デアリマス。是レハ如何様ニ致シマセウカ。』

赤岩 『來年ハ東京デセウ。』

會長 『御希望ガ御座イマシトラ 仰言ツテ下サイ。 コ、デヤツテ欲シイト言フ人ガアリマシトラ御遠慮ナク言ツテ下サイ。』

野口 『昨年ハ「京都ノ次ハ東京」ト決ツテ居タデハナイカ。 前ニ大阪デハ如何カト言フ話モアツタガ、 建築中ナノデ、 何年カノ後ニハ引受ケルト言ハレタガ、 大體ハ東京ニ決ツテ居ツタデハナイカ。』

鹽田 『前ノ記載デハ主ニ東京デ、 タマニハ田舎デ……』 (笑聲)

會長 『田舎ト云フノハ侮辱ノ意味デハナクテ「東京以外ノ土地」ト云フ意味デセウネ。 ソレデハ來年ハ東京。』

赤岩 『東京ニシテ、 次ニ田舎ニシトラヨカラウ。』

會長 『東京ト決メテハ如何デスカ。』 ……(拍手)……

會長 『ソレデハ東京ニ決リマシタ。』

會長 『今度ハ明年ノ會長ノコトデアリマスガ、 例ニヨリ御投票ヲ願ヒマス。』

野口 『會長! 質問! 投票々々ト云ヒマスガ、 會則デハドウナツテ居マスカ。』

會長 『投票ト云フコトニナツテ居マス。』

……投票用紙配布……

會長 『一寸ツケ加ヘマスガ「總會ノ記事」ヲ今御決定ニナツタ様ニ多分ナルドラウト豫想シテ、「演者ハ演説後直チニ自分ノ原稿ヲ幹事ニ渡シテ下サイ」ト今年ノ出演者各位ニ御願ヒシテ置キマシタノデ、 今年カラ其ノ實行ガ出來ルト思ヒマス。 ソレデ幹事ノ人員ヲ増ヤシマシタカラ御諒承願ヒマス。』

野口 『會長! 時間ガアル様デスガ此ノ間ニ宿題ノ議案ヲ纏メラレテハドウデスカ。』

會長 『ソレデハ宿題ニ就テ御意見ヲ伺ヒマス。 是ニ就テ申シ度イノデスガ、 今回ノ事變ニ就テ、 吾々教授ノ許ニ文部省カラ國民精神總動員ト言フ訓令ガ屢々(例ヘバ昭和12年9月10日附)下ツテ居リマス。 是ハ斯ノ如キ國家ノ重大時局ニ際シテハ共同ノ目的ニ向ツテ各人ガ其ノ分ニ應ジテ出來ルダケカラ致スト言フ事ダト考ヘマシタ。 ソレナラバ外科學會モ此ノ事變ニ際シテ傷病兵モ多數アラウカラ、 國家トシテモ外科學會ニ「ドウ云フ事ヲシテ欲シイ」ト最モ希望シテ居ル御意見ガアルドラウト思ヒマス。 ソレデアリマスカラ陸海軍ニソノ意見ヲ匡スコト無シニ單獨デ宿題ヲ決メルトイフ事ハ國家總動員ノ主旨ニ叶ハナイト考ヘマシタ。 ソレデ陸軍ト海軍ノ方ニ非公式ニ自分ハ此ノ際斯ク々々存ズルニヨツテ御意見ヲ聞キ、 ソレニヨツテ來年ノ宿題ヲ決メタイ、 ソレデ海陸ノ方デ御意見ヲ言ツテ下サル人ガ決マレバ會長カラソノ方々ヲ

招待スルカラ正式＝評議員會＝出席シテ意見ヲ開陳シテ貰ヒタイト3月3日附ニテ非公式＝申出マシタ(別項信書寫Ⅰ及ビⅡ参照)。其ノ結果海軍ノ方デハ海軍々醫學校外科教官若生良穗軍醫大佐ヲ出席サス様＝取り計ツタト長田勝芳氏カラ(3月15日附)通知ガアリマシタカラ、ドウカ出席シテ下サイト私カラ會長ノ名デ頼ミマシタ。陸軍ノ側デハ竹内劍大佐、村上徳治大佐ガ今日ノ評議員會＝出席シテ下サツテ陸軍トシテハ此ノ點＝就テ研究シテ欲シイトノ意見ヲ開陳シテ下サルコトニナツタノデ公式＝會長私ノ名ヲ以テ(3月18日附デ)御出席ヲ御願ヒ致シマシタ(別項信書寫Ⅲ参照)。

ソレデ國家ノカハル非常時＝際シテ、陸海軍＝色々ノ研究機關ガアリマセウガ、ソレト無關係無交渉＝單獨デ、帝國大學、單科大學、大病院等ガ全く別＝思ヒ思ヒノ研究ヲアルコトハ國民精神總動員ノ主旨＝悖ルコトト思ヒマス。ソレデ陸海軍ノ御意見ヲ聽イテ來年ノ宿題ヲ考ヘネバナラスト思ヒマシタ。

今日出席下サツタ、……陸海軍ト言ヒマスカラ、先ヅ陸軍ノ村上大佐カラ充分御意見ヲ述ベテ戴キタイデアリマス。』

村上『只今竹内大佐殿ガ御見エ＝ナリマシタカラ、其ノ方ガ順序ト思ヒマス。』

(此ノ間＝投票完了……午後6時20分。)

會長『ソレデハ竹内大佐、コチラヘドウゾ。』(竹内大佐會長ノ前＝進ミ出デ評議員席＝向ツテ發言ス。)

竹内『甚ダ失禮デスガ、丁度戰時體制下ノ演説デ遅クナリマシテ、只今ノ會長ノお話ハ半分程シカ承リマセンデシタガ、先般鳥潟先生カラ御手紙ヲ戴キマシテ大體ノ意味合ヒハ承知シテ居リマス。ソノ御手紙ノ範圍デ考ヘテ陸軍當局カラモソノ範圍デノ意向ヲ承ツテ來マシタガ、外科學會トシテノ細部ノ御希望ヲ承リ、ソレヲ中央＝傳達シテソレヲ軍ノ命令トデモ言フ様ナ形式デ二次的＝纏マル様ニシタ方ガ私ノ方トシテハ好都合ト思ヒマス。鳥潟先生＝御聞キシマシタラ、ソレモ一案ダト言ハレマシタカラドウカソウ云フ風＝願ヘレバ幸ト考ヘマス。』

會長『村上大佐、ドウゾ御意見ヲ……』

村上『軍醫學校デ2,3知ツタ人ト打合セシマシタ所デハ吾々ノ問題＝シテ居ルモノガ、トモスルト機密＝互ルコトガ多イノデ、ソレヲ此處デ皆様＝將來ノ「テーマ」トシテ考ヘテ頂キタイト云フ譯＝ハ參リマセンノデ、ソレ＝拘ラナイコトデ、「テーマ」トシテ茲＝出スモノハ何デアラウト相談シタ結果、ソノ1ツトシテ第1線デ最も困ツテ居ルモノハ何カト考ヘマスト、先ヅ戰傷兵ノ全部ノ20%ノ者ガ戰場デ仆レル。而モソノ多クノモノハ Blutungstod デ直グイツテ了フ。ソレヲ何トカ早く處置シテ其ノ%ヲズツト下ゲル方法ハナカラウカト、顔ヲ見合セルナリ誰レモガ一致シタ希望デアリマシタ。然シ是レヲ「テーマ」トシテ良イカドウカ、ソレスラモ吾々ハ決メ難イノデアリマス。モウ1ツ吾々ハ軍ノ命令デ動イテ居リマスノデ、ソレヲ「テーマ」トシテ出スコトモ出來ヌノデ、ソレデ良イトイフコトデアレバモウ1度軍當局ト御交渉下

サツテ決メテ頂ケレバヨイト考ヘマス。』

會長 『海軍ノ若生大佐、1 ツ御意見ヲ……』

若生 『只今竹内大佐ガ云ハレタ様ニ御願ヒ出來レバ結構デス。他ニ意見ハアリマセン。』

會長 『竹内大佐ノ御意見デハ外科學會ノ方デスウイフコトヲ研究シヨウカト申出テ、軍ノ方デヨイカ悪イカ認メテ頂クト云フ意味デセウカ?』

竹内 『結局ソウデアリマス。色々御話ガ出テソレニ御質問モアリマセウガ、ソレニ應ジテ御返事ノ出來ル範圍ノ事ヲ申シ、ソノ結果之ナラヨイト云フモノヲ軍ヘ相談シテ戴キタイ。』

會長 『評議員諸君! ドウシタモノデアリマセウ?』(各自相談)

會長 『一寸中絶致シマスガ、明年ノ會長豫選ノ結果ハ、

瀬尾貞信君 26票、大槻菊男君 21票、佐藤清一郎君 18票。

ソレデ瀬尾教授、大槻教授ヲ第1、第2ノ候補トシテ總會ニ詢ルコトニナリマシタ。』……(拍手)……

會長 『ドウシタモノデセウ? 御参考ノ爲私カラ出シマシタ手紙ヲ一寸讀ミマス。前置ガアリマスガ(本文朗讀、別項参照)、後マダアリマスガ、以上ノ意味ノコトヲ前以テ陸海軍ノ代表ノ方ニ差上ゲタノデアリマス。

今回ノ外科學會會長トシテノ私ノ希望ハ國家ノコンナ際ニ外科學會ダケガ單獨ニヤルノハ噓ダ。ソウデナケレバ國民精神總動員ノ本旨ニ叶ハナイト思ヒマス。私ハドウシテモ此ノ際國家ノ必要ニ應ジタ研究題目ヲ選定シタイノデアリマス。其ノ意味デ評議員諸君、ドウゾ腹臆ノナイ御意見ヲ述ベテ戴キタイデアリマス。』

辻 『私ハ豫ネ豫ネ今日外科使ツテ居ル材料ガ本當ニヨイノカ、悪イノカ疑ヲ持ツテ居ル。斯ル時局ニ際シテハ代用品ヲ如何ニスベキカ、ソレガ我々ノ國內ニアルカ否カラ考ヘテ見タイ。曾ツテ私ハ歐洲大戰ノ時ニ材料ノ缺乏シタ獨逸ガドウイフ材料ヲ使ツタカラ知りタカツタノデ星野軍醫ニ御願シテ集メラレルダケ集メテ貰ヒマシタ。ソレハ京都大學ノ倉庫カ何處カニアル筈デス。例ヘバ紙デ作ツタ「ガーゼ」、繃帶ソノ他色々ノモノデアリマス。我々外科醫ガ日常使フ材料デ缺乏シテキルモノヲ如何ナル代用品デ補フカ、ソレヲ用ヒテドウナルカラ研究シテ見テハドウカ。例ヘバ、ソレヲ用ヒテ Wunde ニ對シテ如何デアルカ、手廣ク會員ノ方ガ使ツテ發表シテ戴キタイ。一寸御參考マデニ。』

會長 『ソウスルト辻博士ノ御意見ハ明年ノ宿題トシテ「色々ノ繃帶材料」トイフコトデアリマスカ。』

辻 『藥品モアリマセウシ、器具モアリマセウシ、色々ノ材料、例ヘバ日清戰爭ノ時ノ菊地常三郎博士ノ藥灰ノ如キデス。』

會長 『簡單ナ材料ノコトデアリマスカ。』

辻 『今日輸入出來ナイモノヲ國內ニ産スルモノデ補充スルコトデス、色々アリマス。』

會長 『ソレデハ宿題ノ題目トシテハドウシトラヨイデセウカ。』

辻 『手取り早く云へバ「國產品ニヨル手術材料ノ研究」。』

會長 『ソレデハ主ニ繃帶デスナ。』

辻 『絲モ「ガーゼ」モ……』

杉村 『外科材料デスナ。』

會長 『「國產品ニヨル外科材料ノ研究」, ソノ他ニ何カ御意見ヲ出シテ下サイ。』

古屋野 『私ハ昨年8月 パリーデ開カレタ國際輸血學會ニ出席シマシタガ, ソノ時 スペインノ軍醫ノ方ガ保存血ノ問題デ標本, 寫眞ヲ見セテ報告セラレマシタ。只今モ村上大佐ヨリ出血死ノコトガ戰線デ第1ノ問題デアルト言ハレタガ, 保存血ヲ戰線デ使用シ得ルカドウカ, 是ヲ研究シテ見テハドウデスカ。』

會長 『ソレハ村上大佐ノ言ハレタ出血死ノ研究ノ一部トイフコトニナル譯デスネ, ソウスルト宿題候補ガ2ツ出來マシタ。即チ

1. 「國產品ニヨル外科材料」 2. 「出血死ノ研究」。

野口 『「出血死」ノ研究デヨロシイカ, 出血死ヲ助ケル方ノ研究デハナイカ?』

會長 『ソレハ勿論常識デス。』

野口 『「出血死ノ對策」トシテハドウデスカ。』

會長 『ソノ意味デス。字句ハ後デ。』

會長 『竹内, 村上兩大佐ニ御尋ネシタイノデスガ, 例ヘバ offene Wunde ノ處置ノ簡易化トイフコトガ問題デハナイデセウカ。』

竹内 『ソレハ戰傷外科ノ主ナルモノデアリマス。』

鹽田 『ソレハ大戰ノ時パリーデモ問題トナツタ。』

會長 『ソナ事モ全部ノ研究機關ヲ總動員シテ研究シテ然ルベキコトデハナイデセウカ。Offene Wunde ノ處置ノ簡易化モ候補ニ入レテ戴キタイ。』

齋藤 『會長ノ御意見ノ様ニスレバ大學デハ Kriegsmaterial ガナイカラ Tierexperiment ヲヤルヨリ他ニ仕方ガナイ。陸海軍ニハ多クノ Material ガアリ, 大學デハ Tierexperiment ヲヤツテ兩々相俟ツテヤルコトガ此ノ問題ヲ解決スルニ良イト思フ。私ノ考ヘトシテハ allgemeine Chirurgie デハ Verblutung トカ, Wundinfektion ノ問題トカ, Fraktur ノ問題トカ。Frakturニ就テハ三好軍醫中佐ガ Extension ヲ多クヤツテ居ラレル。ソレカラ Brustschuss モ澤山アルガ殊ニ困ルノハ Bronchialfistel ノ場合デアル。斯様ナコトヲ具體的ニ決メテ, 軍ニハ専門家モ居ラレルコトデアルカラ, 陸海軍ニモ相談シ, 現會長ト次回會長トガ代表トナツテ軍ト相談シテ決メテ戴イテハ如何。ソレニ對シテ若シ Diskussion スルナラバ問題ヲ皆様カラ持寄ツテ後決メテ頂イテハドウカ。大學側ハドウシテモ材料ガナイノデ experimentell ニスルヨリ仕方ガナイ。軍ハ材料ヲ持ツテ居ラレル。ソレデ丁度兩足デ歩クコトニナルト思ヒマス。』

會長 『至極結構デスナー。ソノ外御意見ハアリマセンカ。』

鳥居 『後療法……後デ充分使ヘル様ナ義手，義足ノ研究。』

會長 『宿題ノ題目トシテハドウ書キマセウカ。』

鳥居 『「後療法」デス，療法トスレバマヅイカモ知レマセンガ。』

木村 『今鳥居サンガ言ハレタコトハ片山國嘉君ガ整形外科學會デ既ニ宿題トシテ報告シテ居リマス。』

會長 『ソレヲ參考ニシテ更ニ進メヨウト言フノデスナ。題ヲドウイフ様ニシマセウカ？ 私ノ方デハ題ヲ決メテ頂イテソレヲ陸海軍ノ方ヘ御相談申シ上ゲ度イト思ヒマス。』

藤田 『創傷傳染病ハ色々アルノデ，「嫌氣性創傷傳染病」トシテハ如何デスカ。藤齋教授ノ言ハレタ様ニ題ヲ作ツテ，アマリ差障リノナイモノヲ軍デ決メテ貰ツテハドウデスカ。』

齋藤 『後デ題ヲ決メテ貰ツテヨイデハナイカ。』

會長 『後デ題ヲ決メマスガ Amputationsstumpf……片山博士ノハ何ト云フ題デシタカ。』

齋藤 『義手，義足。』

野口 『會長！ Amputationsstumpf トイフノデスカ。義手，義足トイフノデスカ。』

會長 『義手，義足ト云ヘバ Amputationsstumpf ニ關係シタコトデハナイデスカ，ソウデセウネ!?』

鹽田 『切斷方法デスナ，ソレガ。』

會長 『ソレデハ患肢ノ……』

鹽田 『切斷法』

會長 『切斷法モヨイガ，モウ少シヨイ言葉ハアリマセンカ。都築教授，何カ御考ヘハナイデスカ。』

赤岩 『「斷端處置及ビ後療法」トシタラドウデスカ。』

會長 『「患肢ノ機能更生法」トシタラドウデスカ。大キク名ヲツケタ方がヨイ。』

鹽田 『切ルトカ縫ウトカガ問題トナル。』

會長 『ソレハ患肢機能更生法ノ問題ノ中ニ含マレテ居ル。』

鹽田 『機能更生モダガ命ヲ助ケルトイフコトガ……』

會長 『命ヲ助ケル爲ニハ切斷ヲセヌ場合モアル。ソレガ廣義ノ機能更生ト云フ意味ニナル。』

鹽田 『切ラナイナラ問題ニナラス。』

會長 『ソレデハ「患肢切斷法ノ研究」トデモシマセウカ。』

中田 『我々が考ヘ及ブ限り，軍部ノ御専門ノ方デハ既ニ考ヘテ居ラレルコトデハナイカト思ヒマス。ソコデ我々が寧ろ純粹ノ外科ニ立チ歸ツテソレガ何カ御役ニ立ツ様ニトノ目的デヤツタラドウカト思ヒマス。今軍部ト相談シテ色々ノコトヲヤツテ見テモ御役ニ立タヌコトガアルカモ知レナイシ，又公ニナルト世ノ中ニ具合ガ惡イコトガアルカモ知レマセン。』

會長 『公ニナツトラ尙良イト思フ。國民精神總動員ト云フ點カラ……』

中田 『勿論國民精神總動員トイフ意味デ……』

會長 『今我々ガ是レダケ議論ヲシタトイフ事ダケデモ 我々ガ國家總動員ノ趣旨ニ從ツテ何カノ役ニ立チ度イトイフ意志ハ充分通ジタコトニナル。』

中田 『國民精神總動員トイフ主旨ヲ體シテ 直接軍部ト關係ハナクテモ 其ノ心デ宿題ヲヤツテソレガ役ニ立テバヨロシイト思フ。』

會長 『ソレハ頗ル良イ御考ヘダト思フ。 我々ハ何カ國家ニ盡シ度イトイフ、 ソレダケデ良イカラ我々ハ勝手ニヤルト云フ……』

中田 『勝手ト申サレマスガ ヤツパリ戰傷トカ戰傷死トカイフ問題ヲ 軍當局ト相談セズニ研究シテ、 直グ役ニ立ツトイフコトハナクモ將來役ニ立テバ良イト思ヒマス。』

會長 『題ハ具體的ニ……？』

中田 『具體的ノ「テーマ」ハアリマセン。 今迄言ツタコトハ軍部ノ専門ノ方デ研究シ盡サレテハ居リマセンデセウカ。 ソレデモソレト平行ニ又ハ遅レ走セニヤツテモ良イト思ヒマス。 ソノ以外ニ題ヲ舉ゲル必要ガアレバ今ノ意志デ現會長ト次回會長トデ御相談シテ決メテ下サツトラ結構デス。』

會長 『主旨ハ結局一致シマスカラ、 「テーマ」ヲ 1 ツナリ 2 ツナリ beitragen (寄與)シテ頂キタイ。』

齋藤 『吾々ダケ喋ツテモ…… 大學教授デアリ、 軍醫デアラレル後藤教授ニ 1 ツ御意見ヲ願フテハ……』

後藤 『嫌氣性菌創傷感染ガ適當ダラウト思ヒマス。 ソノ他ニハ「外傷ト交感神經トノ關係」、 「Frostgangraen ト交感神經トノ關係」ヲ研究シテハ如何カト思ヒマス。 北滿ニ行ク人ハ交感神經ヲヨク調べテ置カナイト凍傷ニ罹リ易イ。 特發性脱疽ノ他ハ餘リ立入ツテヤツテ居ラヌカラソレモ「テーマ」ニナルト思ヒマス。』

會長 『ソレナラ題目ダケヲ舉ゲテ下サイ。』

後藤 『第 1 ニ「嫌氣性菌創傷感染」、 第 2 ニ「外傷ニヨル障碍ト交感神經トノ關係」ヒイテハ「Frostbeule 及ビ Frostgangraen ト sympathische Nerven トノ關係」位デアリマス。』

會長 『ソノ他ニ御意見ハアリマセンカ。 若シナケレバ次回ノ會長ガ主トナリ、 ソレニ私共ガ御參考ニナツテ、 スウ云フ問題ハドウダラウト陸海軍ト相談シテ、 ソノ結果、 1 題ナリ、 2 題ナリヲ決メテハ如何デセウ。』 (賛成ノ聲……拍手……)

竹内 『只今「テーマ」ガ色々出テ大變結構デ面白イデスガ、 只今以外ニ良イ問題ガアルカモ知レマセンノデ、 後デ充分相談シテ他ノ「テーマ」デモ良イコトヲ評議員會ニ諮ツテ頂キタイノデアリマス。』

會長 『ソレハヨロシイ。 コレダケノ問題中カラ選ブトハ限リマセン。 コレハ 1 ツノ參考デ

ス。次回會長ノ御意見デ、ソレ程必要デナクテモ國家ノ現状デ學會トシテ、コウ云フ事ヲヤツテハ如何カトアレバソレモ問題ニシテヨロシイト云フコトヲ御承認願ヒマス。』(賛成ノ聲)

會長 『ソレカラ 明年ノ宿題ノ中ニ、斯フ云フノモ宿題ニシテ欲シイト云フ御申込ガアリマシタ。ソレハ名古屋ノ名倉重雄教授カラノ申込デアリマシタノデ、ソレハ眞ニ結構ダ、評議員會デ一應御説明下サル様ニト願ツテ置キマシタ。ソレデアリマスカラ、名倉君一應御説明ヲ願ヒマス。』(名倉教授ヲ指シ招ク)

名倉 『會長ニ申上ゲタ題ハ從來所謂骨端線炎トカ骨軟骨炎トカ云ハレタモノ、研究デ、御承知ノ様ニ此ノ題目ハ獨逸外科デ獨專的ニ昔カラ研究サレテキタノデアリマスガ、一時中絶サレテ居リマス。然シ全ク打切ラレテ居ルノデアアリマセン。フライブルヒノ Lehn 教授、ベルリンノ Hackenburg、ケルンノ v. Haberer、ベルリン大學ノレントゲン研究室カラモ研究ガ出テオリマス。私共ハコノ打切ラレタ研究ニ一縷ノ光明ヲ見出シマシタノデ、既ニ基礎ニナル研究ダケハ Langenbeck ノ Archiv ト Zentralblatt ニ 4 篇ヲ出シマシタガ、コレカラ先ハ猶ホ半年位ヲ要シマス。此レハ獨逸外科學會ノ獨占的「テーマ」デアツタガ、ソレニ關係シタ人モ既ニ數人死ンデオリマス。ソコデ若シ御願ヒ出來レバ、斯カルモノモ獨逸外科學會ト呼應シテ日本デモ少シデモ研究寄與ガ出來レバト考ヘマス。』

會長 『名倉教授カラ送ツテ頂イタ別冊ヲ通讀シマシタガ、Trauma ガ重大ナ誘因トナツテ居ル様デスネ。ソレナラバ今度ノ事變デモ關節部ヘノ Trauma ガ随分ト起リマセウ。矢張りソウスト之モ戰傷ニ關係ガアルト理解シテヨロシイデスカ。』

名倉 『ソウデス。』

會長 『戰傷ト關係ガアルノデ斯ル際ニハ、此ノ研究モ大イニ望マシイ事ト思ヒマス。然シ之ヲ日本外科學會デハ宿題トスルカ、獨逸ノ方ハ研究モ進ンデ居ルノデ特別講演トスルカ、或ハ止メテ了フカ、ドウシタモノデセウ？私ハヤツテ頂キ度イト思ヒマス！』

野口 『賛成！』

鹽田 『戰傷、殊ニ私ハ恩給ノ顧問ヲシテ居マスノデ、獨逸ニ對シテモ名倉君ノ様ナ立派ナ研究ハ是非發表シテ頂キタイ。』

會長 『御意見ハ他ニアリマセンカ。皆様御賛成ト思ヒマス。』(……拍手……)

會長 『宿題ニシマスカ、特別講演ニシマスカ、次回會長ガ御承認下サレバ、特別講演ニシタイノデスガ。』

赤岩 『特別講演ハ不可ント云フ事ニナツテ居ル。』

會長 『ソレハ評議員會デ決メレバヨイノデス。』

須藤 『ソレハ次回ノ會長ニ、時間ノトリ方モアリマセウカラ特別講演ニシテモ、宿題ニシテモ、次回ノ會長ニ一任シテ、兎ニ角ヤツテ頂キタイデス。』

會長 『宿題ヲ決定スルノハ私ノ義務デスカラ、兎ニ角次回ニヤルコトニ決定致シマス。』

瀬尾 『私ハ只今一寸考ヘマスノニ、宿題擔任者ハ題ガ決マラス以上決メラレナイガ、評議員諸氏ニ相談セズニ宿題ガ決マツテカラ私カラ誰々ニヤツテ呉レト頼ンデヨロシイデスカ?』

會長 『ソレハイ、ダラウト先刻カラ思ツテ居リマシタ。』

會長 『毒瓦斯ハ近頃問題トナツテ居ルガ、此ノ頃ハ素人デモ知ツテ居ル。明年ハ毒瓦斯ニ關係シタコトモヤツテ戴キタイ。ソレハ如何デアリマセウカ。從來ノ外科學會雜誌ニモ Original (原著)ハアリマセンシ、又外科學教科書ニモ掲載サレテ居マセン。』

三宅 『賛成!』

會長 『三宅名譽會員ガ賛成サレマシタカラ、皆様如何デスカ。』……(賛成)……『ソレデハ明年毒瓦斯ニ關係シタコトモヤツテ頂キマス。ソレニ就テハ權威者ガアリマスカラ、ソノ方ニお願い致シマセウ。』……(賛成)

會長 『宿題ニ關スルコトハ未ダ決マラナイ點モアリマスガ、コレデ打切りマス。』

會長 『次ニ議事日程ニハ書イテアリマセンガ、外科學會雜誌ノ特別掲載ノコトデス。外科學會雜誌ノ掲載ニ關シテハ原稿ガ輻輳シテ、ソノ順番ヲ待ツテ居ルト1年モ、ソレ以上モカハルソウデス。ソレデ他ノ雜誌ニ倣ツテ、早ク發表シタイ希望ノ者ハ特別ノ料金ヲ拂ツテ直グニ出スト云フ事ニシテハ如何カト云フ事デス。私ハ賛成デスガ、都築教授、一ツ費用ノ點ヲ御説明願ヒマス。』

都築 『大ザツパニ説明シマスガ、今ハ20頁迄ハ會ノ方デ負擔シ、ソレ以上ハ金ヲ拂ツテモラツテ居マス。急グ人ガ特別掲載スルコト、ナルト、今迄外科學會デ負擔シタ20頁分ダケノ實費ヲ出シテモラヘバ良イ事ニナル。1頁ノ實費ハ現在ノ事ヲ云フテモ、物價ガ不定デ段々高クナルノデ判リマセンガ、今ノトコロ1頁8、9圓デスカラ表ヲ別トシテ字ヲ列ベタダケデハ、1頁9圓トスレバ20頁デ180圓、大體今迄ノモノヨリ之ダケ多ク負擔スレバ宜シイ。吾モ吾モト非常ニ澤山ノ希望者ガアルト、雜誌ガ厚クナツテ、會トシテハ今迄ノ袋ガ間ニ合ハナクナリ、郵税モ高クナツテ負擔ガ大キクナルノデ困リマス。目下ハ1ヶ月120頁ノ雜誌ヲ出シテ居リマスガ、30頁乃至50頁ヲ特別掲載ノ方ニ廻ハストスレバ150頁乃至180頁ノ雜誌トナツテ、袋モ郵税モ今迄ト大差ナシニ實行出來ルト思ヒマス。』

會長 『如何ノモノデ御座イマセウ。矢張り之ハヤラネバナリマスマイ。』

鹽田 『ソレガヨイ。』

會長 『御不同意ハアリマセンカ。』(不同意者ナシ)

會長 『ソレナラバオ認メニナツタコト、確定致シマシタ。』

會長 『コレデ大體済ミマシタ。』

會長 『昨年ノ評議員會デ諸君モ御賛成ニナツタ青山名譽會員ガ多年常務幹事ヲシテ下サツタコトノ勞ヲ謝スル意味デ、記念品ヲ贈ルコトニナツテ、ソノ實行方法ヲ前會長高橋君カラ私ニ一任サレマシタカラ、私ハ青山君ノ御意見モ聞イテ、(卓上ヲ指シ)之ヲ調ヘマシタ。費用ハ

鹽田教授ノ場合ヲ參考ニシマシタ。

我々ノ大學ノ清野教授ノ鑑定デハ確ナモノデアリマス。之ヲ先年鹽田名譽會員ノ時ノ記念品モ披露サレマシタカラ、今回モ此處ニ御披露シマス。之ハ「漢ノ方壺」ト云フ大變古イモノダソウデス。箱書ハ川上漸博士ニ願ヒマシタ。川上君ハ30年來書及ビ詩ノ研究家デ狩野直喜先生ノ直流ヲ汲ンデ居リマス。先例ニ從ツテ此處ニ御披露致シマス。

ソレデハ之デ評議員會ヲ閉ヂマス。』(時ニ午後7時25分、直後別室ニ於テ同會食、任意退散)

I. 鳥潟會長ヨリ長田(勝芳)海軍軍醫中將、村上(徳治)陸軍軍醫大佐宛書信ノ寫シ

拜啓

時下益々御健勝の段奉賀候 扱て今回日本外科學會評議員會にて明年の日本外科學會の宿題が評議せらるべく候が軍の祕密に屬せざる範圍に於て國家の現状が必要とする研究題目を日本外科學會が考慮し敢て軍部と言はずまた軍部以外(大學、專門學校及び公私の病院)と言はず兩者協力聯合し總掛りにて國家の必須に應じ得る如き研究題目を選択致し度と愚考致し候に就ては陸軍及び海軍の方より一名宛適當なる方を日本外科學會評議員會に派遣して御希望を御説明下さるならば幸甚と存候が貴下より一應當局者へ御相談下さるを得ば結構と存じ候 もし誰方かを派遣して下さる事が出来る御内諾あらば更めて日本外科學會の名を以て四月一日京都市に於ける日本外科學會評議員會へ御臨席を願ふ様招待狀を差出し可申候 御手数乍ら何卒一應當局者へ御交渉下され結果御一報被下度奉懇願候 敬具

昭和十三年三月三日

鳥 潟 隆 三

.....殿

II. 鳥潟會長ヨリ海軍軍醫大佐福井(信立)博士宛書信ノ寫シ

前記 I ノ文面ニ更ニ次ノ通り添書キアリ。

同様の手紙は陸軍側にて村上徳治氏、海軍側にて長田勝芳氏にも差出し申候が貴下にも御願ひ申上候譯は長田氏は或は東京には御不在かとも掛念せられまた他面明年の外科學會には毒瓦斯に關し日本外科學會にて特別講演を貴下に御願ひ致度その旨を今度の日本外科學會評議員會に提案致度との心組も有之候故海軍側の御意見を御説明下さる人として貴臺に御臨席を願ひたる方がよろしきかとも考へ候次第に有之候 (陸軍の御意見を御示し下さる代表としては一名に限らず二名にてもよろしき事に候間此點をも御含みの上當局と御談合被下候へば幸甚に存候)

敬具

昭和十三年三月五日

鳥 潟 隆 三

海軍軍醫大佐 福 井 信 立 様

III. 烏潟會長ヨリ陸軍軍醫大佐竹内・村上兩博士及ヒ海軍々醫大佐若生博士宛招待狀寫

拜啓

時下益々御健勝の段奉賀候 扱て來る四月一日の日本外科學會評議員會に於て明年の宿題等が評議せらるべく候が此際陸海軍以外の外科學研究機關（例へば各帝大，單科大學，專門學校等）が一致協力して國家現状の必要に應じ得るが如き必須の研究に従事し得るならば意義更に大なる事と存候に就き過般長田勝芳，福井信立兩氏にそれぞれ交渉致し候處貴官に御出席を請ふべき様御取計ひ被下候由御返事有之候に付何卒當日御臨席下され前記の意味に於て御意見御開陳下され度特に御願申上候

右貴意を得たく斯の如くに御座候 敬具

昭和十三年三月十八日

日本外科學會長 烏 潟 隆 三

.....殿

追て日本外科學會評議員會は四月一日午後四時半より京都市河原町御池京都ホテルに於て開催の筈に有之候

附記

第40回(昭和14年4月)日本外科學會ノ宿題ハ評議員會記事ニ示サレタルガ如ク未決定ナリシガ，總會第1日即チ昭和13年4月2日正午休憩時間中現會長烏潟教授，次回會長タルベキ瀬尾教授，鹽田名譽會員，大槻教授，中田教授，齋藤教授（三宅名譽會員ハ缺，都築教授ハ所在不明）會合シ，烏潟教授ノ原案通りニテ次ノ如ク決定シ總會ニ諮ルコトナリ，4月3日ノ總會ニテ可決セリ。

宿題(昭和14年)

1. 失血救急

2. 創傷感染

右2題ハ擔當者ヲ定メズ。國民精神總動員ノ趣旨ヲ體シ全會員共同ノ研究問題トシテ各自任意報告ノコト(但シ内容ノ如何ニ依リ30分迄ノ演說時間ヲ要求シ得)。

3. 所謂骨端炎

報告者

名大教授
醫學博士

名 倉 重 雄 君

4. 陳舊性膿胸(結核性ヲモ含ム)

報告者

京大講師
醫學博士

青 柳 安 誠 君

特別講演

毒瓦斯

海軍軍醫學校教官

海軍軍醫大佐 醫學博士 福 井 信 立 君

以 上